

【おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議】

資料 2 - 1

Plastic Action Plan

2019.12.20



Shaping a New Journey



目次

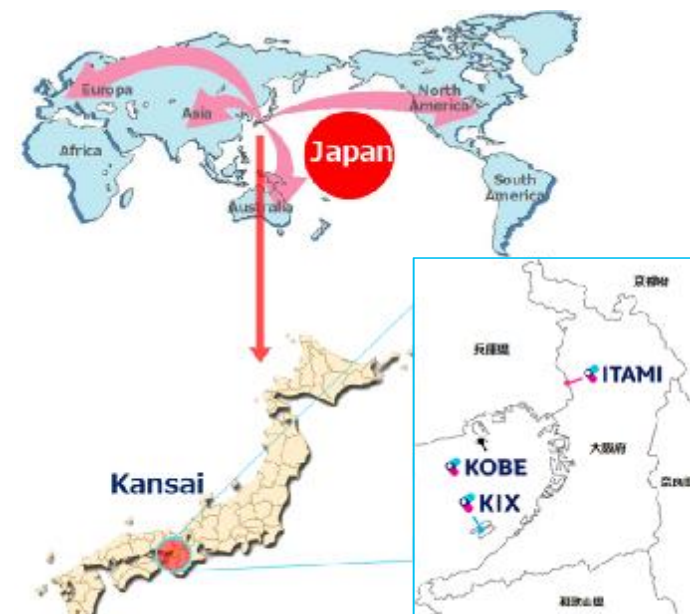
- 1 関西エアポートの紹介
- 2 環境計画“Oneエコエアポート計画”
- 3 空港でのプラスチックの利用と処理状況
- 4 空港でのプラスチック対策
- 5 まとめ



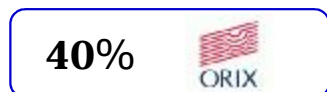
関西エアポートの紹介



関西エアポートグループ



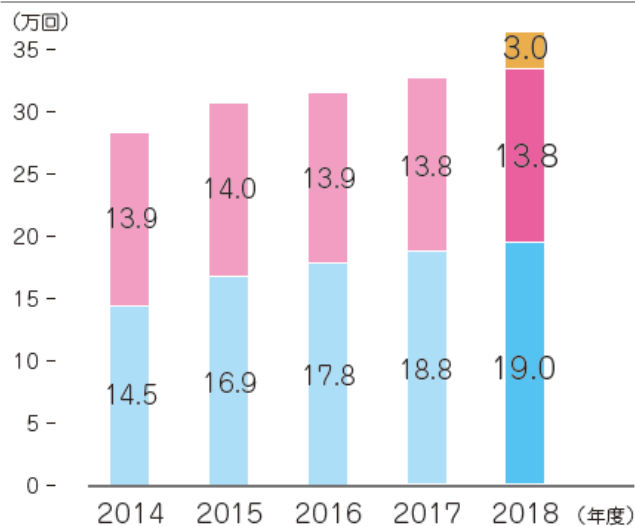
* 関西エアポート株式会社の主な株主



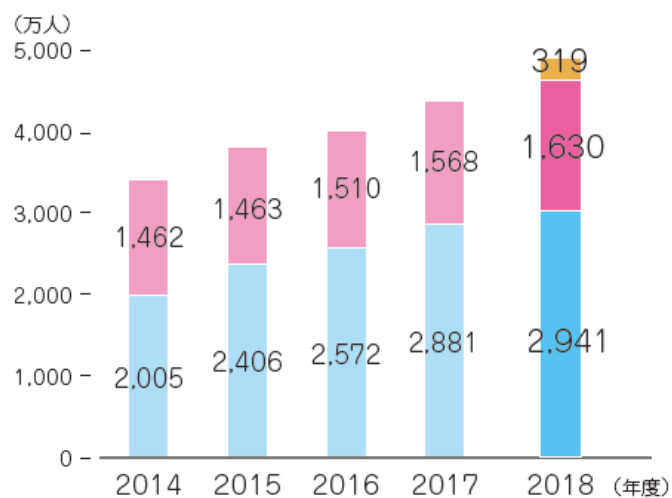
20% 株式会社池田泉州銀行、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、積水ハウス株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、パナソニック株式会社、南海電気鉄道株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行 など30社

3空港の運営概況

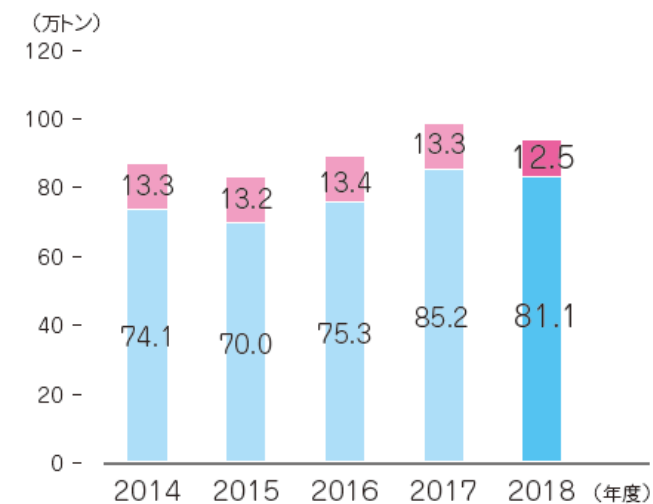
航空機発着回数



航空旅客数



貨物取扱量



Q 2019年度の上期は・・・


昨年（2018年度）の自然災害からの反動増もあり、3空港合計の総発着回数（19.1万回）、旅客数（2,644万人）がともに、**年度上期として過去最高**を記録

■ : 関西国際空港 ■ : 大阪国際空港
■ : 神戸空港



環境計画 “Oneエコエアポート計画”

関西エアポートグループの環境宣言



Shaping a New Journey

関西エアポート環境宣言

関西エアポートグループは、関西圏（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）において、旅客への価値を高めるために様々な活動に取り組んでいます。その活動をより一層推進していくため、新しい環境計画「Oneユニテリアム」を策定し、環境負荷低減に向けて以下の4つの柱のもとに私たちの今後の取り組みの軸となる目標を設定し、推進策を定めています。

- ・**気候変動への対応**
気候変動低減に向けて、エネルギー使用の効率化を進めるとともに、温室効果ガス削減量の削減に向けた施策に取り組んでいます。また、太陽光や水素などの再生可能エネルギーや新エネルギーの使用を促進し、地球環境の保全に貢献していきます。
- ・**資源循環**
廃棄物及びプラスチックの削減、分別、リサイクル、資源回収を行います。また、データの分析による水利用の効率化や水利用の見える化や雨水利用を検討するなど、廃棄物と水の両方で「Reduce」「Reuse」「Recycle」の3Rを推進し、資源保全に貢献していきます。
- ・**資源循環の推進**
航空機燃料削減に引き続き取り組むとともに、適切に設備配置を実施し、無駄を省くことを目指します。また、緑地の維持・拡大や、環境調音による機内環境の向上、生物多様性の保全に努めるとともに、節電・節水活動に取り組むとともに、適切な設備配置を実施し、無駄を省くことを目指します。
- ・**環境マネジメント**
環境計画プログラムを活用して、環境への負荷を低減・削減し、削減につなげることを目指し取り組んでいます。また、環境管理の強化や環境学習の促進、空港関連事業者や国内外の空港との連携を通じて、本業情や空港関係者、地域の人々との対話に努めます。

関西エアポートグループは、地域およびステークホルダーとの関係構築について大きな責任を担っていると考えており、今後も環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境目標（目標年度：2022年度、基年年度：2015年度）

1. エネルギー使用量：年平均1%削減（トラフィックユニット当たり）
2. CO₂排出量：年平均1%削減（トラフィックユニット当たり）
3. 上水使用量：年平均2%削減（旅客数当たり）
4. 廃棄物リサイクル率：35%以上
5. 使い捨てプラスチック使用量：25%削減
6. ACA（空港カーボン認証）、ISO14001（環境管理体系）などの環境認証の取得
7. 空港及び周辺地域に関する生物多様性の評価と保全
8. クリーンエネルギー源としての水素利活用への支援

山本佳之
関西エアポート株式会社
代表取締役社長 CEO
山本 佳之

関西エアポート株式会社
代表取締役社長 CEO
ブリアー リョウ

環境目標

- エネルギー使用量：年平均1%削減（トラフィックユニット当たり）
- CO₂削減量：年平均1%削減（トラフィックユニット当たり）
- 上水の使用量：年平均2%削減（旅客数当たり）
- 廃棄物のリサイクル率：35%までの向上
- 使い捨てプラスチック使用量：25%削減
- ACA（空港カーボン認証）などの環境認証の取得
- 空港及び周辺地域に関する生物多様性の評価と保全
- クリーンエネルギー源としての水素利活用への支援

まずは削減

関西エアポートグループの環境計画 “Oneエコエアポート計画”



環境にやさしいスマートエアポートの実現



Oneエコエアポート計画 4つの柱	環境目標 6つの取組	主な取組の組み	貢献するSDGs 17の国連持続可能な開発目標
1 気候変動への対応	省エネルギーの推進 再生可能エネルギーの活用 資源効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーの推進 再生可能エネルギーの活用 資源効率の向上 	
2 資源循環	水使用量の削減 廃棄物のリサイクル 資源循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> 水使用量の削減 廃棄物のリサイクル 資源循環の推進 	
3 周辺環境との共生	周辺環境との共生 生物多様性の保全 自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 周辺環境との共生 生物多様性の保全 自然環境の保全 	
4 環境マネジメント	環境マネジメント 連携・教育 環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメント 連携・教育 環境意識の向上 	

プラスチック対策に係る関西エアポートグループの目標

日本のプラスチック資源循環戦略（5/31）		
項目	目標年次	取組み
リデュース	2030	使い捨てプラスチックを <u>25%抑制</u>
リユース リサイクル	2030	プラスチック製容器包装の <u>60%をリユース・リサイクル</u>
	2035	使用済プラスチックの <u>100%をリユース・リサイクル</u> (熱回収含む)
再生材 バイオマスプラスチック	2030	再生材の利用を <u>倍増</u>
	2030	<u>バイオマスプラスチック</u> を最大限（約200万トン）導入

関西エアポートグループの目標	
目標年次	備考
2022	One エコエアポート計画 (2018-2022)
2022	
2035	技術の進歩により、利用 可能な素材を順次適用
2030	
2030	

<http://www.env.go.jp/press/106866.html>



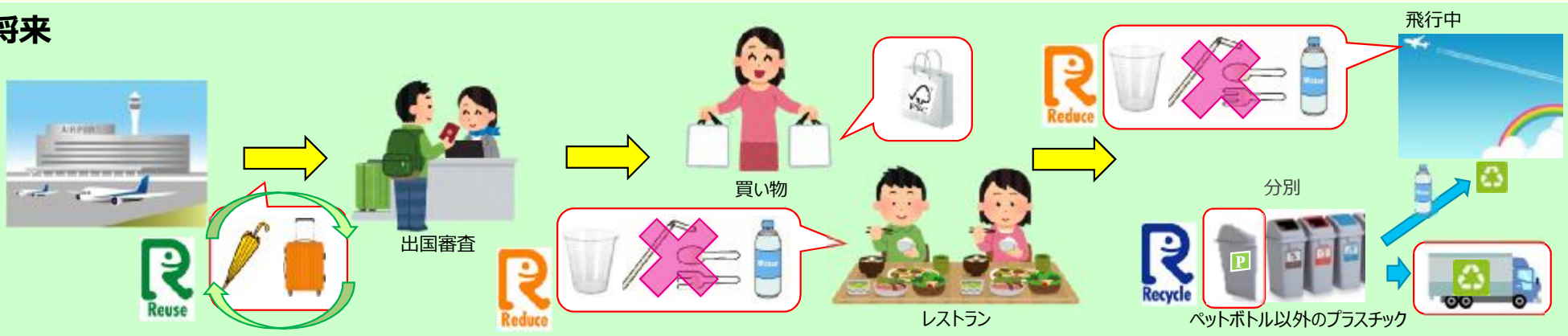
空港でのプラスチックの利用と処理状況

空港での利用改善ポイント（旅客）

現在



将来

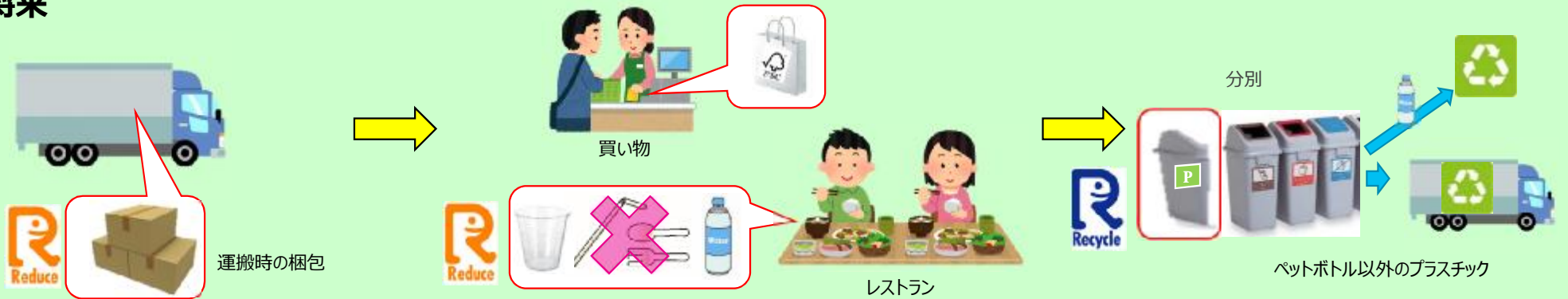


空港での利用改善ポイント (テナント)

現在



将来

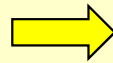


空港での利用改善ポイント（貨物）

現在

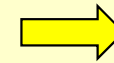


運搬時の梱包



梱包

パレット



将来



運搬時の梱包



梱包

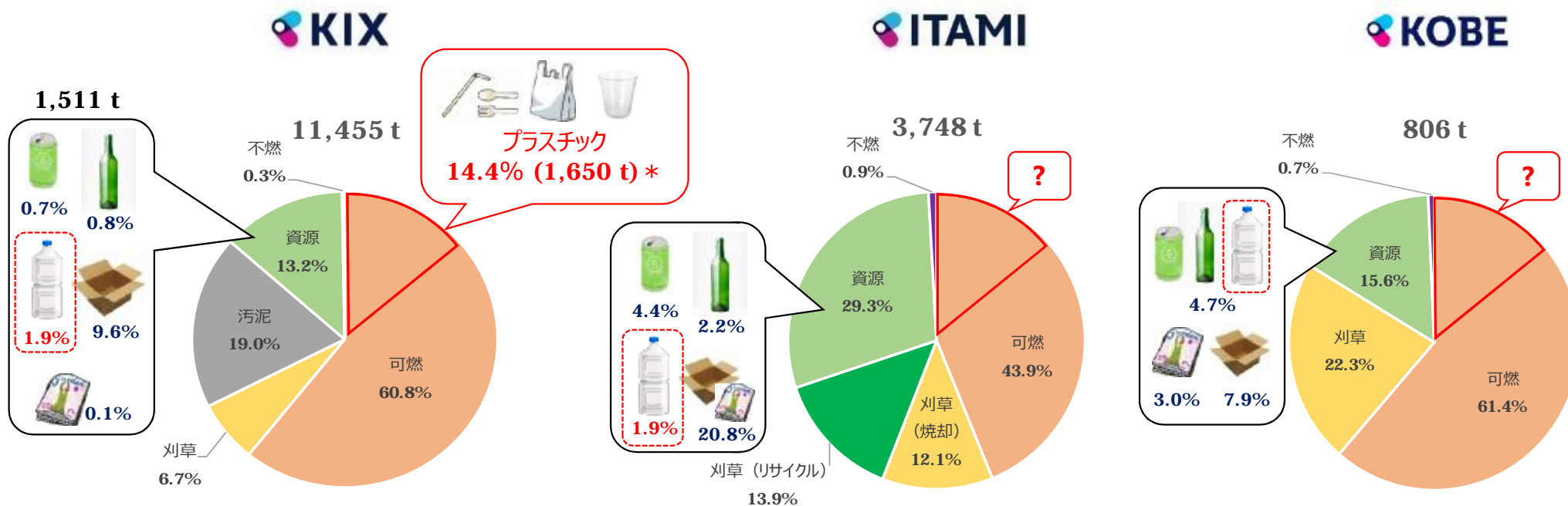
パレット



改善点と解決策

項目	改善点	解決策
Reduce リデュース	<ul style="list-style-type: none">プラスチック製コップ、ストロー、ビニールバッグ、梱包材、貨物用パレット	<ul style="list-style-type: none">プラスチックの代替素材への転換
Reuse リユース	<ul style="list-style-type: none">傘、キャリーケース航空貨物梱包材	<ul style="list-style-type: none">使えるものを分別リユースシステムの構築
Recycle リサイクル	<ul style="list-style-type: none">プラスチックごみの分別プラスチック市場の情報収集	<ul style="list-style-type: none">プラスチック用ごみ箱の新設プラスチックのリサイクルルートを探す

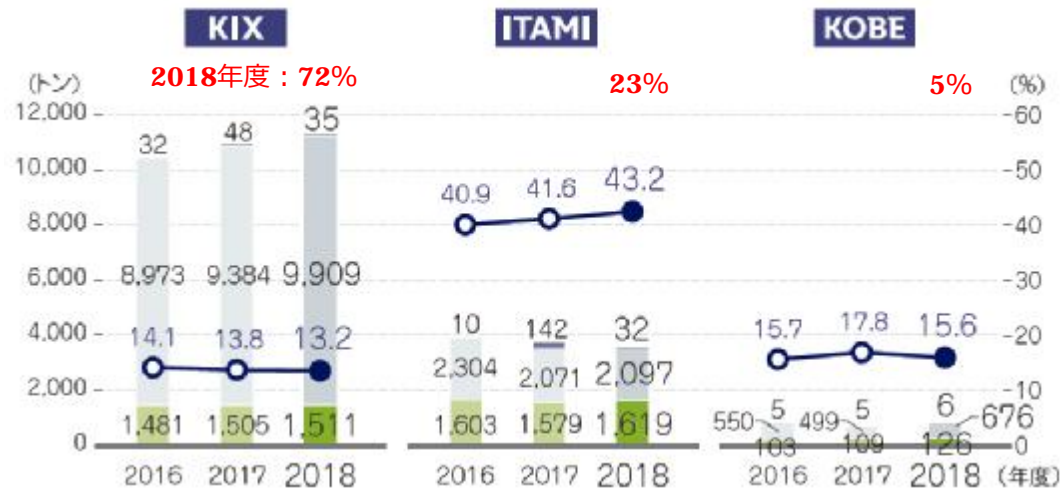
3空港のプラスチック処理状況（2018年度）



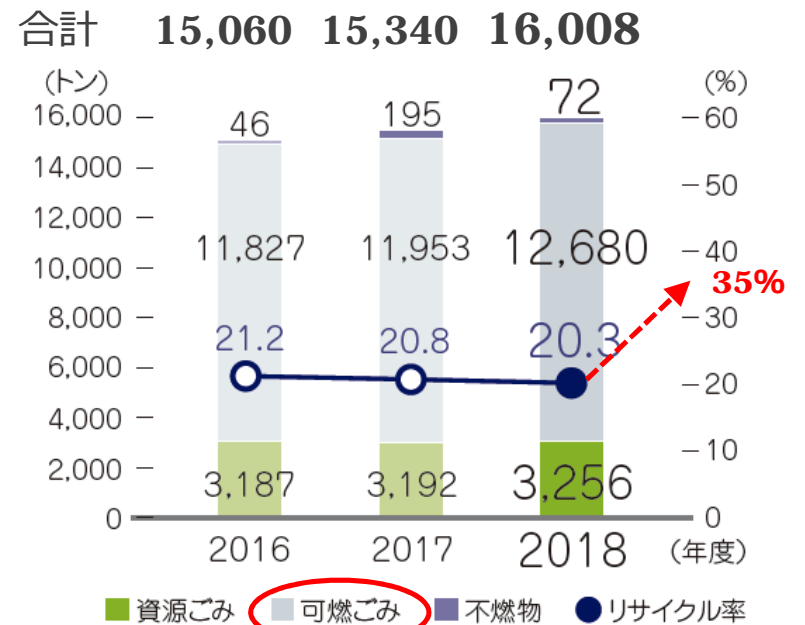
* KIXのプラスチック割合は、島内クリーンセンターでのサンプリング調査（4回/年）による。
 * KIXの可燃ごみに含まれるプラスチック量は、推計値である。

- ① 排出量の特定
- ② 目標達成のためのアクションプラン

3空港の廃棄物量とリサイクル率



KIX・ITAMI・KOBE 全体



グリーンセンター
In KIX



リデュース・リサイクルを推進

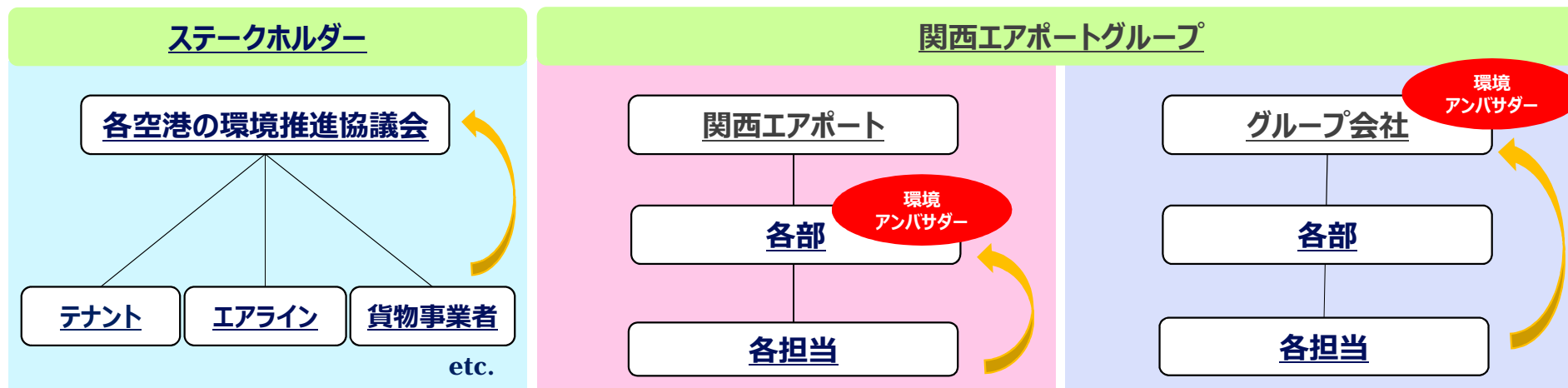


空港でのプラスチック対策

プラスチック対策のポイントと3Rの関係

	削減	リユース リサイクル	廃棄物処理の 改善
① 空港全体の意識を向上させる	++	++	
② 分別方法や商業経営を変える	++	++	
③ 空港の規程や調達方法を変える	+	+	
④ リサイクルシステムを改善する		++	++

① 空港全体の意識を向上させる



オリジナルエコバッグ・ピンバッジの活用

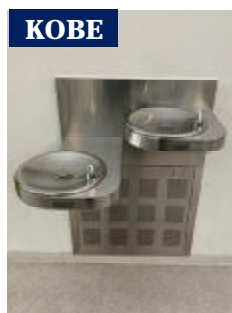
② 分別方法や商業経営を変える

〇 テナントと協力してお客様に訴求する。2019年10月から導入



多くのテナントの皆さんに賛同してもらっています♪

〇 ターミナルビル内に給水スポットを設置中。今後、増設予定。



〇 2020年4月から関西エアポートの直営免税店や物販・飲食店のショッピングバッグ・ストローを紙袋や生物由来の素材に切り替え*



*メーカー支給分は除く

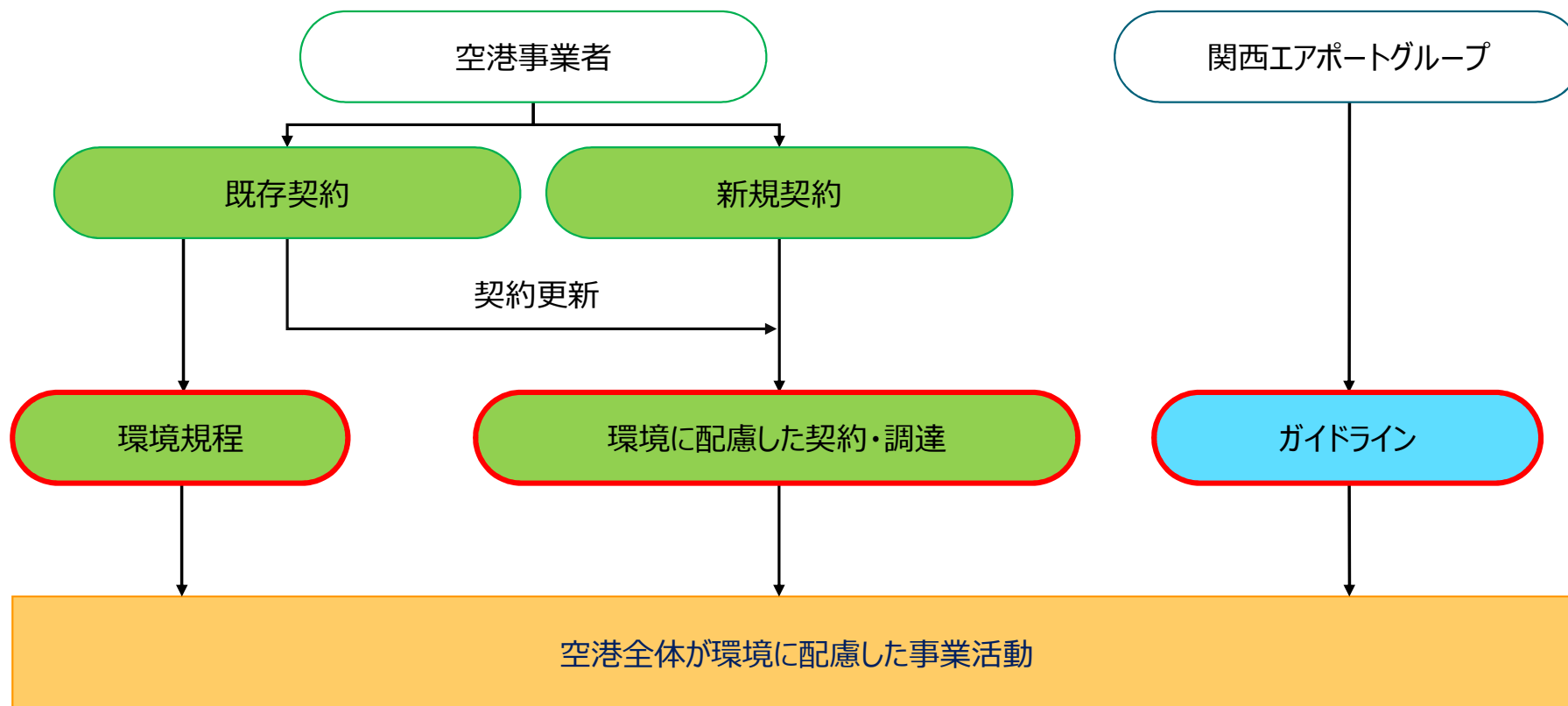
〇 空港内のイベントでは、プラスチックを排除したサービス提供を心掛ける等、環境に配慮した大会運営を実施



第16回KIX国際交流ドラゴンボート大会 (2019年9月1日開催)

③ 空港の規程や調達方法を変える

検討中

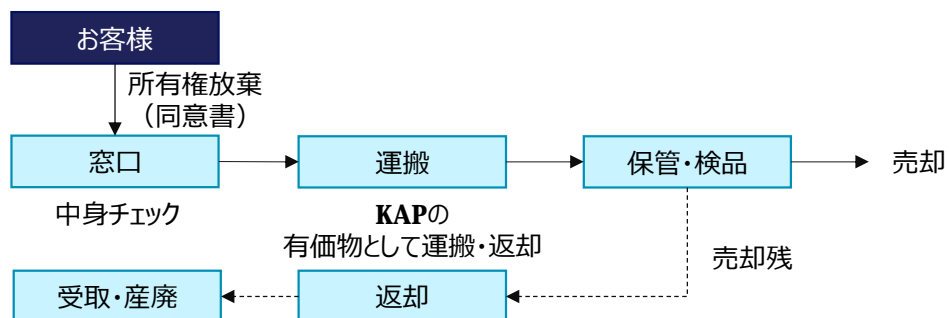


④リサイクルシステムを改善する

〇3空港のターミナルビルの出入り口（風除室）にリサイクル傘BOXを設置中



〇2018年8月より、KIXではスーツケースのリサイクルを実施中



【2018年度実績】

放置物件数	前年度比 半分弱に
業務効率化	対応時間（警備・案内） 約250時間削減
リユース件数	引取り件数の 約40%





まとめ

まとめ

(1) 今後のプラスチック対策の流れ

- Ø 廃棄されるプラスチックの量と種類を**現状把握**する
- Ø 現状把握した上で、分別・リデュース・リユース・リサイクルの**具体的な方法を検討**する
- Ø **Plastics action**の実行

(2) プラスチック対策を推進していくために望むこと

- Ø プラスチック対策に対する**共通の意識向上施策**があるよい
- Ø プラスチック削減目標を達成するために**指針となる具体的な施策や法整備**があるとよい
- Ø プラスチック対策を**後押しする支援（補助金、税制優遇等）**があるとよい

Shaping a new journey!

KIX

Kansai International Airport



Osaka International Airport

ITAMI



Kobe Airport

KOBE





Thank you for your attention!

ご清聴ありがとうございました。